

2023年より実施予定の“華語文能力測驗 2.0 版”について Q&A

Q1：2023年より実施予定の「華語文能力測驗 2.0」と現行の試験と異なる点は何ですか？

A1：成績証明に台湾華語文能力基準(略称TBCL)による判定レベルが追加されます。台湾華語文能力基準(略称TBCL)とは、“Taiwan Benchmarks for the Chinese Language”といい、華語文の特性に適合した華語文スタンダードの体系です。今後は当スタンダードを華語文能力の指標とし、3クラス7レベルの能力指標、漢字・語彙・文法の等級の基準が設けられます。(※成績証明について、2021年8月よりCEFR・ACTFLとの相関分析が完了しているレベルについてはTBCLの表記が開始しております。)。さらに、証書には受験者本人の写真が追加されます。

また、「華語文語料庫與能力基準整合應用系統」を積極的に作問に活用することにより、試験問題がより近現代における交流場面と近現代のカテゴリーに対応するようになります。「華語文語料庫與能力基準整合應用系統」は、華語文教育、教材編纂、試験問題の作問、辞書編纂等にすでに引用されています。

・華語文語料庫與能力基準整合應用系統　：<https://coct.naer.edu.tw/>

本件について、TOCFL 主催団体である国家華語測驗推動工作委員会より、新しい情報が入り次第、情報の更新をさせていただきます。

2022年6月7日
TOCFL 日本事務局